

<金標準、グリーンランドから再びイランへ・・・>



(出所：オアシス)

グリーンランド問題で一時第二次世界大戦後に築かれたルールに基づく国際秩序に亀裂が生じる可能性が高まる中で、高市首相が23日召集の通常国会冒頭で衆院を解散すると表明すると日本の長期金利が高騰し、主要国債市場を大きく揺さぶり軒並み売りが広がった。特にトランプ大統領がEU8ヶ国に対して関税を課すと発表し、EUも米国債を売却する可能性が高まるなど、債券売りで通貨に対する信認が薄れ、米国市場ではトリプル安の動きを見せている。そのため金に対する購買意欲が高まりを見せている。ゴールドマンサックスは2026年12月までの目標高値を従来の4900ドルから5400ドルへ上方修正を示している。また週末には日銀とNY連銀のレートチェックも入り、ドル安の恩恵を受けたNY金は5000ドルに近づく動きを見せている。特にトランプ大統領はイランに対する攻撃を匂わす発言を行っており、グリーンランドからイランへ地政学的なリスクの高まりが移行するなど、金標準も高値追いを続けると見え、円高の中でも27000円が見えて来ると思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが上昇し、シグナルも上昇している。RCIは短期と長期が85%以上で維持している。特に日足が指数平滑移動平均線に沿って上昇を続けており、一時的な修正は起これど、27000円に向けた値動きが続くと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,358,000 円(2026 年 1 月 26 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 137,280 円(2026 年 1 月 26 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>